

平成28年度版
秋田市環境基本計画年次報告書（27年度の状況）

平成28年10月
秋 田 市

本報告書は、秋田市環境基本条例（平成11年秋田市条例第15号）第10条の規定に基づき、本市の環境の状況、市が講じた環境施策の実施状況等を明らかにするため、作成したものです。

平成28年10月
秋田市環境部環境総務課

目次

環境基本計画数値目標の達成状況	1
-----------------	---

主な取組の状況（平成27年度）

第1章	清らかな水とさわやかな空気のもと、健やかな暮らしを守ります	
第1節	大気環境	8
第2節	水環境	10
第3節	生活環境	11
第2章	多様な自然をとうとび、身近な緑に親しみ、豊かな心をはぐくみます	
第1節	自然環境	13
第2節	身近な自然	14
第3節	自然の公益的機能	15
第4節	歴史的・文化的環境	19
第3章	知恵と工夫で、限りある資源とエネルギーを大切にします	
第1節	廃棄物	24
第2節	エネルギー・水資源	27
第4章	世代や地域を越えてともに語らい、環（わ）となって取り組みます	
第1節	環境保全活動	30
第2節	環境配慮対策	31
第5章	一人ひとりが秋田を知り、地球に学び、未来を想い、行動します	
第1節	環境教育・環境学習	33
第2節	地球環境問題	38

別添資料	41
------	----

環境基本計画数値目標の達成状況

※評価

- ◎ 【目標達成】目標を達成、維持している。
- ↑ 【目標未達】前年度比で数値が改善した。
- 【目標未達】前年度比で数値が横ばいである。
- ↓ 【目標未達】前年度比で数値が悪化した。

第1章 清らかな水とさわやかな空気のもと、健やかな暮らしを守ります

第1節 大気環境

環境指標	目標値	目標年度	27年度実績値	評価(※)	課所室
① 大気汚染	二酸化窒素	環境基準の維持達成 (1日平均値の年間98%値が0.06ppm以下)	32年度 年間98%値 0.015ppm	◎	環境保全課
	浮遊粒子状物質	環境基準の維持達成 (1日平均値の年間2%除外値が0.10mg/m ³ 以下)	32年度 年平均値 0.040mg/m ³	◎	環境保全課
	光化学オキシダント	環境基準の達成 (1時間値が0.06ppm以下)	32年度 最高値 0.104ppm 年平均値 0.038ppm	→	環境保全課
	二酸化いおう	環境基準の維持達成 (1日平均値の年間2%除外値が0.04ppm以下)	32年度 年間98%値 0.004ppm	◎	環境保全課
	微小粒子状物質	環境基準の維持達成 (1年平均値15μg/m ³ 以下かつ1日平均値の年間98%値35μg/m ³ 以下)	32年度 年平均値 12.6μg/m ³ 年間98%値 30.6μg/m ³	◎	環境保全課
	ベンゼン	環境基準の維持達成 (1年平均値が0.003mg/m ³ 以下)	32年度 年平均値 0.00077mg/m ³	◎	環境保全課
	トリクロロエチレン	環境基準の10分の1の値の維持達成 (1年平均値が0.02mg/m ³ 以下)	32年度 年平均値 0.000037mg/m ³	◎	環境保全課

テトラクロロエチレン	環境基準の10分の1の値の維持達成 (1年平均値が0.02mg/m ³ 以下)	32年度	年平均値 0.000034mg/m ³	◎	環境保全課
ダイオキシン類	環境基準の維持達成 (年間平均値が0.6pg-TEQ/m ³ 以下)	32年度	年平均値 0.0070pg-TEQ/m ³	◎	環境保全課
二酸化窒素 (自動車排ガス)	環境基準の維持達成 (1日平均値の年間98%値が0.06ppm以下)	32年度	年間98%値 0.022ppm	◎	環境保全課
一酸化炭素 (自動車排ガス)	環境基準の10分の1の値の維持達成 (1日平均値の年間2%除外値が1ppm以下)	32年度	年平均値 0.5ppm	◎	環境保全課
② 公用車の低公害車導入率	平成22年度=181台/343台 →平成32年度=100%	32年度	208台/351台(59.3%)	↑	環境総務課

第2節 水環境

環境指標	目標値	目標年度	27年度実績値	評価(※)	課所室	
① 水質汚濁	環境基準健康項目	環境基準の達成 (カドミウム等27項目)	32年度	調査を行った12河川、20か所全てにおいて、環境基準を達成していた。	◎	環境保全課
	環境基準生活環境項目	環境基準の達成 (pH等6項目、河川のBODを除く。)	32年度	調査を行った22河川、34か所中、大腸菌群数が20か所で環境基準を達成できなかった。	→	環境保全課
	河川のBOD	環境基準からさらに引き下げて設定	32年度	調査を行った21河川、33か所中、1か所(馬踏川の前山橋)で環境基準を達成できなかった。	→	環境保全課
	ダイオキシン類	環境基準の維持達成 (1pg-TEQ/L以下)	32年度	調査を行った河川2か所、海域1か所全てにおいて、環境基準を達成していた。 河川 最低値 0.064pg-TEQ/L 最高値 0.086pg-TEQ/L 平均値 0.075pg-TEQ/L 海域 平均値 0.073pg-TEQ/L	◎	環境保全課

② 地下水	環境基準の達成	27年度	平成元年度から、市域を1kmメッシュで区切り、5年間で一巡する地下水質測定計画を定め、地下水質調査を行っている。27年度は、調査を行った市内22か所の井戸全てにおいて、環境基準を達成していた。	◎	環境保全課
③ 汚水の処理率	平成22年度＝95.5% → 平成30年度＝97.0%	30年度	97.8%	◎	上下水道局 総務課
④ 水質汚濁事故	平成17年度＝41件 → 平成27年度＝半減	27年度	事故件数 30件	→	環境保全課

第3節 生活環境

環境指標	目標値	目標年度	27年度実績値	評価(※)	課所室
① 一般環境騒音	環境基準の維持達成 (平成22年度＝100% → 平成32年度＝100%)	32年度	市内の一般環境における昼間および夜間の騒音調査を市内5か所で行った結果、全ての時間区分で環境基準を達成していた。 一般環境騒音調査 5か所24時間連続 環境基準適合率 昼100% 夜100%	◎	環境保全課
② 道路交通振動	要請限度以下のレベルを維持達成 (平成22年度＝100% → 平成32年度＝100%)	32年度	市内の主要幹線道路沿いの10か所で、昼間および夜間の交通振動調査を行った結果、全箇所、全ての時間帯で要請限度を下回っており、人体に感じないレベルであった。	◎	環境保全課
③ 悪臭	苦情件数の低減 (平成17年度＝19件 → 平成32年度＝件数半減)	32年度	苦情件数 14件	↑	環境保全課
④ 土壌の重金属	環境基準の維持達成 (平成22年度＝100% → 平成32年度＝100%)	32年度	該当事業なし	—	環境保全課

⑤ 土壌のダイオキシン類	環境基準の維持達成 (平成22年度=100% →平成32年度=100%)	32年度	土壌に係るダイオキシン類の調査を、市内の公共用地を中心とした一般環境3か所、発生源周辺3か所で行った結果、全てで環境基準を達成していた。 一般環境 最低値 0.0083pg-TEQ/g 最高値 0.070pg-TEQ/g 平均値 0.034pg-TEQ/g 発生源周辺 最低値 0.17pg-TEQ/g 最高値 7.4pg-TEQ/g 平均値 4.2pg-TEQ/g	◎	環境保全課
--------------	--	------	---	---	-------

第2章 多様な自然をとうとび、身近な緑に親しみ、豊かな心をはぐくみます

第1節 自然環境

環境指標	目標値	目標年度	27年度実績値	評価(※)	課所室
市域の緑地等の割合	平成19年度=83.8% →平成32年度=83.6% →平成42年度=83.5%	42年度	82.7%(H26.10.1現在)	→	都市計画課

第2節 身近な自然

環境指標	目標値	目標年度	27年度実績値	評価(※)	課所室
① 市街化区域内における緑地面積	平成19年度=1,837ha →平成29年度=1,877ha	29年度	1,852ha	↑	公園課
② 市街化区域内における幹線市道の街路樹整備率	平成17年度=ほぼ100% →平成27年度=100%	27年度	100%	◎	道路維持課

第3節 自然の公益的機能

環境指標	目標値	目標年度	27年度実績値	評価(※)	課所室
① 市面積に占める森林面積の割合	平成21年度＝68.0% → 平成32年度＝69.0%	32年度	67.8%	→	産業企画課
② 間伐実施面積	平成21年度＝2,591ha → 平成27年度＝7,870ha	27年度	10,092ha	◎	産業企画課
③ 間伐実施による二酸化炭素吸収量	平成21年度＝8,370t → 平成27年度＝58,454t	27年度	95,874t	◎	産業企画課
④ バイオエタノールの製造原料としてのもみがらの利用	平成21年度＝0t → 平成27年度＝2,250t	27年度	該当事業なし	－	産業企画課
⑤ 市面積に占める農用地面積の割合	平成21年度＝10.6% → 平成32年度＝10.6%	32年度	10.6%	◎	産業企画課
⑥ 海辺の保全のためのボランティア清掃に係る支援件数	平成22年度＝31件 → 平成32年度＝45件以上	32年度	19件 天候に左右されやすいため、支援件数に影響が生ずる。本市としては、ボランティア団体等からの支援要請があれば、積極的に収集等の支援を実施する。	↓	環境都市推進課

第4節 歴史的・文化的環境

環境指標	目標値	目標年度	27年度実績値	評価(※)	課所室
市の歴史的、文化的施設への入場者数	平成22年度＝553,049人 → 平成27年度＝725,000人	27年度	493,805人	→	文化振興課

第3章 知恵と工夫で、限りある資源とエネルギーを大切にします

第1節 廃棄物

環境指標	目標値	目標年度	27年度実績値	評価(※)	課所室
① 市民一人あたりの家庭系ごみの排出量(資源化物を除く。)	平成11年度=618g/人・日 → 平成24年度=10%以上削減、556g/人・日以下	24年度	517g/人・日	◎	環境都市推進課
② 事業系ごみの排出量(資源化物を除く一般廃棄物)	平成11年度=49,138t/年 → 平成24年度=15%以上削減、41,767t/年以下	24年度	45,343t	↑	環境都市推進課
③ 一般廃棄物のリサイクル率	平成11年度=23.6% → 平成27年度=38%以上	27年度	30.8%	↑	環境都市推進課
④ 最終処分場への埋立量	平成11年度=20,798t → 平成27年度=90%以上削減、2,079t以下	27年度	3,728t	↓	環境都市推進課

第2節 エネルギー・水資源

環境指標	目標値	目標年度	27年度実績値	評価(※)	課所室
① 市民一人あたりの家庭系の電力使用量(電灯需要)	平成21年度=2,151kWh/年・人 → 平成32年度=10%減、1,935kWh/年・人	32年度	2,197kWh/年・人(平成25年度末現在)	↑	環境総務課
② 市内での都市ガス使用総量	平成21年度=40,235千m ³ /年 → 平成32年度=10%減、36,211千m ³ /年	32年度	43,190千m ³ /年(平成25年度末現在)	↓	環境総務課
③ 水道施設の整備(有効率の向上)	平成22年度=92.4% → 平成28年度=95%以上	28年度	94.3%	↓	上下水道局総務課

④ 省エネルギー住宅比率	平成20年度=65% → 平成32年度=70%	32年度	71%	◎	住宅整備課
--------------	----------------------------	------	-----	---	-------

第4章 世代や地域を越えてともに語らい、環(わ)となって取り組みます

第1節 環境保全活動

環境指標	目標値	目標年度	27年度実績値	評価(※)	課所室
市で認定した自然環境保全活動を行っている団体	平成17年度=3団体 → 平成27年度=5団体	27年度	5団体	◎	環境総務課

第5章 一人ひとりが秋田を知り、地球に学び、未来を想い、行動します

第1節 環境教育・環境学習

環境指標	目標値	目標年度	27年度実績値	評価(※)	課所室
① こどもエコクラブの登録認定数と参加子ども人数	平成17年度=40クラブ、987名 → 平成27年度=40クラブ、1,000名以上	27年度	23クラブ、1,500名	◎	環境総務課
② 出前講座の開催回数と受講者数	平成22年度=41回、1,908名 → 平成32年度=45回、1,800名	32年度	22回、1,230名	↓	環境総務課

第2節 地球環境問題

環境指標	目標値	目標年度	27年度実績値	評価(※)	課所室
① 市域の温室効果ガス排出量	平成2年度=2,936千t-CO ₂ → 平成32年度=平成2年度比10%減	32年度	平成24年度(統計上の最新値)=3,765千t-CO ₂ (平成2年度比28.2%増、平成23年度比5.8%増)	→	環境総務課
② 秋田市役所の温室効果ガス排出量	平成24年度=129,803t-CO ₂ → 平成28年度=平成24年度比4%減	28年度	126,485t-CO ₂ (平成24年度比2.6%減)	↓	環境総務課

主な取組の状況(平成27年度)

第1章 清らかな水とさわやかな空気のもと、健やかなくらしを守ります

第1節 大気環境

(1) 大気環境の監視体制の整備等

取組名	27年度の実績	担当課所室
① 大気・水質等環境保全事業	・市内9か所の一般環境大気測定局で大気汚染物質の常時監視を行った結果、光化学オキシダントおよび非メタン炭化水素を除く5項目(二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、二酸化窒素、一酸化炭素、微小粒子状物質)で、大気環境基準又は指針値を達成していた。 ・測定機器の更新(土崎局の硫酸化物・浮遊粒子状物質計、仁井田局の窒素酸化物計、將軍野局の非メタン炭化水素計ならびに土崎局および広面局の風向風速計)を行った。	環境保全課
② ダイオキシン類対策事業	・大気2か所(年4回)、河川の水質と底質2か所、海域の水質と底質1か所、地下水1か所、土壌6か所で調査を行った。いずれも環境基準を達成していた。 ・ダイオキシン類対策特別措置法に係る特定施設を設置している3工場・事業所を立入検査し、ダイオキシン類の測定を行った結果、全ての施設の各項目において、排出(処理)基準に適合していた。	環境保全課

(2) 工場・事業場対策の充実等

取組名	27年度の実績	担当課所室															
① 大気・水質等環境保全事業	公害関係法令等に基づき届出の審査、立入検査および指導を行い、規制基準の遵守を徹底させた。 ・法対象施設の立入調査 8工場・事業場 ・特定粉じんの立入調査 12工場・事業場 <table border="1" data-bbox="472 927 1267 1182"> <thead> <tr> <th>公害関係法令等に基づく届出</th> <th>大気汚染防止法</th> <th>秋田県公害防止条例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定粉じん排出等作業実施届出</td> <td>12件</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ばい煙発生施設の設置届出</td> <td>14件</td> <td>12件</td> </tr> <tr> <td>ばい煙発生施設の廃止届出</td> <td>15件</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>氏名変更等届出</td> <td>23件</td> <td>18件</td> </tr> </tbody> </table>	公害関係法令等に基づく届出	大気汚染防止法	秋田県公害防止条例	特定粉じん排出等作業実施届出	12件	—	ばい煙発生施設の設置届出	14件	12件	ばい煙発生施設の廃止届出	15件	7件	氏名変更等届出	23件	18件	環境保全課
公害関係法令等に基づく届出	大気汚染防止法	秋田県公害防止条例															
特定粉じん排出等作業実施届出	12件	—															
ばい煙発生施設の設置届出	14件	12件															
ばい煙発生施設の廃止届出	15件	7件															
氏名変更等届出	23件	18件															
② 公害防止協定の締結と運用	公害防止協定に基づき、最善の公害防止対策を実施するとともに、対策状況について報告を求めた。排水基準を定める省令の一部改正に伴い、株式会社三井光機製作所の排水の許容限度を改正するため協議を行い、協定書の一部を改正した。また、次のとおり公害防止協定に関する協議があり、それぞれについて了承した。 ・秋田住友ベーク株式会社の焼成装置のための非常用コンプレッサー設置に関する協議 ・秋田製錬株式会社飯島精錬所の清澄池のpH安定化に係る設備導入に関する協議 ・アルフレッサファインケミカル株式会社の製造製品の変更に伴う公害防止協定の一部改正に関する協議 ・秋田製錬株式会社飯島精錬所の中和工場設備の一部更新及び移設に関する協議 ・秋田製錬株式会社飯島精錬所の硫酸製造設備の一部更新及び移設に関する協議 ・秋田製錬株式会社飯島精錬所のばい焼炉に付帯する蒸気タービン発電設備の設置に関する協議 ・秋田製錬株式会社飯島精錬所の硫酸製造設備の一部追加変更に関する協議	環境保全課															

(3) 自動車排ガス対策の充実等

取組名	27年度の実績	担当課所室
① 低公害車導入・普及	市民・事業者により率先して、公用車への低公害車導入を推進した。 ※別添資料→41ページ	環境総務課
② 自転車等駐車場の整備	実績なし	交通政策課
③ 道路改良事業	22路線、延長2,725mの道路改良工事を実施した。	道路建設課
④ 交差点改良事業	実績なし	道路建設課
⑤ 幹線道路整備事業・街路事業	街路事業について、外旭川新川線(寺内工区)の用地買収、物件移転補償、排水路改良工事などや泉外旭川線の用地買収、物件移転補償などを実施した。また、秋田環状線(牛島駅前工区)において、用地買収、物件移転補償、橋梁架替工事などを実施した。	道路建設課
⑥ 交通安全施設等整備事業	道路反射鏡46基、道路照明灯9基、道路区画線135kmおよび歩道844mを整備した。	道路維持課
⑦ 道路緑化整備事業	街路樹の維持管理として、川尻八橋線ほか46路線、延べ19,343㎡の植樹帯等の除草を実施したほか、泉ハイタウン29号線ほか41路線、1,027本の高木剪定ならびに鉄砲町菅野線ほか11路線のツツジ等の冬囲いを実施するとともに、街路樹欠損木の補植21本、通行の安全確保のため、街路樹根上がり補修を28か所実施した。	道路維持課
⑧ エコドライブの推進	エコドライブ講習会を開催した。 ・日 時 平成27年5月23日(土)、10月6日(火) ・場 所 秋田県警察運転免許センター、割山自動車学校 ・参加者数 39名	環境総務課
⑨ 地方バス路線維持対策事業	生活バス路線を確保するため、運行維持が困難な赤字バス路線への補助を行った。 ・バス事業者: 秋田中央交通株式会社 ・補助系統数: 58系統 ・補助額: 61,826千円(一般財源: 44,837千円、県補助: 16,989千円)	交通政策課
⑩ 美の国あきたエコ交通キャンペーン	毎月第4金曜日を「エコ交通の日」(ノーマイカーデー)として、庁内放送や広報により、徒歩や自転車、公共交通機関を利用した通勤への転換を呼びかけた。 ・平成27年10月実績(重点実施月) ノーマイカーデー参加者 494名 早起き時差出勤参加者 356名	交通政策課

第2節 水環境

(1) 水環境の監視体制の整備等

取組名	27年度の実績	担当課所室
① 大気・水質等環境保全事業	人の健康の保護に関する項目については、調査を行った12河川、20か所全てにおいて環境基準を達成していた。また、生活環境の保全に関する項目では、調査を行った22河川、34か所のうち、生物化学的酸素要求量が1か所、大腸菌群数が20か所で環境基準を達成できなかった。	環境保全課
② 有害化学物質対策事業	公共用水域の水質および底質調査を河川2か所(太平川下流、安養寺川)、海域1か所(雄物川河口沖4km)で実施した結果、全てで環境基準を達成していた。また、地下水の水質調査を1か所(雄和)で実施した結果、環境基準を達成していた。	環境保全課

(2) 工場・事業場対策の充実等

取組名	27年度の実績	担当課所室
① 大気・水質等環境保全事業	公害関係法令等に基づき届出の審査、立入検査および指導を行い、規制基準の遵守を徹底させた。 ・特定施設設置等届出件数 47件 ・立入検査 68特定工場延べ91検体 726項目 排水が基準に不適合だったのは2事業場で、不適合項目の内訳は大腸菌群数が1件、水素イオン濃度が1件であった。	環境保全課
② 公害防止協定の締結と運用【再掲】	公害防止協定に基づき、最善の公害防止対策を実施するよう求めるとともに、対策状況について報告を求めた。排水基準を定める省令の一部改正に伴い、株式会社三井光機製作所の排水の許容限度を改正するため協議を行い、協定書の一部を改正した。また、次のとおり公害防止協定に関する協議があり、それぞれについて了承した。 ・秋田住友ベーク株式会社の焼成装置のための非常用コンプレッサー設置に関する協議 ・秋田製錬株式会社飯島精錬所の清澄池のpH安定化に係る設備導入に関する協議 ・アルフレッサファインケミカル株式会社の製造製品の変更に伴う公害防止協定の一部改正に関する協議 ・秋田製錬株式会社飯島精錬所の中和工場設備の一部更新及び移設に関する協議 ・秋田製錬株式会社飯島精錬所の硫酸製造設備の一部更新及び移設に関する協議 ・秋田製錬株式会社飯島精錬所のばい焼炉に付帯する蒸気タービン発電設備の設置に関する協議 ・秋田製錬株式会社飯島精錬所の硫酸製造設備の一部追加変更に関する協議	環境保全課

(3) 生活排水対策の充実等

取組名	27年度の実績	担当課所室
① 浄化槽設置整備事業	下水道事業計画区域外、農業集落排水整備事業区域外および個別排水処理施設整備事業整備区域外における浄化槽の設置促進のため、国・県の補助制度を活用し、設置費の一部を助成する制度を設けている。平成27年度は、1件の補助申請があった(参考:設置届件数47件)。	環境保全課
② 浄化槽整備推進事業	平成27年度は、浄化槽を5基設置した。	下水道整備課
③ 農業集落排水事業	平成7年度供用開始をした下北手寒川地区農業集落排水施設について、今後更新し、又は下流域に位置する下北手中央地区農業集落排水施設へ統合するため、実施設計業務委託を行った。	下水道整備課

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
④ 水洗便所改造資金 融資あっせん制度お よび助成金制度	助成金利用件数 ・融資あっせん:26件 あっせん金額:15,534千円 ・助成金交付:208件 助成金額:6,220千円	給排水課
⑤ 公共下水道事業	平成27年度末実績 ・汚水面整備 A=29.56ha ・下水道普及率 92.7% ・処理可能人口:292,680人(住基人口:315,770人)	下水道整備課
⑥ 流域下水道建設費 負担金	秋田市負担分(77.70%) ・補助対象分 250,103千円 ・単 独 分 0千円 ・ 計 250,103千円	上下水道局総務課
⑦ 上下水道教室の開 催	夏休み親子水めぐりの旅 一般向け上下水道教室 ・開催日:平成27年8月2日 ・開催日:平成27年10月16日 ・参加者:11名 ・参加者:16名 ・内 容:施設見学、漏水探知体験 ・内 容:施設見学、漏水探知体験	上下水道局総務課
⑧ 下水道設見学受け 入れ	施設見学者数 5団体 249名 内訳 小中高生(園児含む。) 3団体 211名 一 般 2団体 38名 (一般見学者数は、小中高生の引率者含む。)	下水道施設課
⑨ 下水道管渠改築事 業	中通五丁目地内ほかで、下水道管渠改築工事を実施 ・下水道管渠改築延長 L=2,058m ・工事費 631,227,600円	下水道整備課

第3節 生活環境

(1) 生活環境の監視体制の整備等

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
① 生活環境保全事業	主要幹線道路沿い17か所および一般環境地域5か所で騒音の調査を実施した。また、主要幹線道路沿い10か所で振動の調査を行った。 (調査結果) ・道路交通騒音調査 全ての時間区分で環境基準を達成したのは11か所、超過したのは6か所であった。なお、全箇所所要請限度を超過していなかった。 ・一般環境騒音調査 全調査箇所、全時間帯で環境基準を達成していた。 ・道路交通振動調査 全調査箇所、全時間帯で要請限度を超過していなかった。	環境保全課

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
② ダイオキシン類等対策事業【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> ・大気2か所(年4回)、河川の水質と底質2か所、海域の水質と底質1か所、地下水1か所、土壌6か所で調査を行った。いずれも環境基準を達成していた。 ・ダイオキシン類対策特別措置法に係る特定施設を設置している3工場・事業所を立入検査し、ダイオキシン類の測定を行った結果、全ての施設の各項目において、排出(処理)基準に適合していた。 	環境保全課
③ 有害化学物質対策事業	<p>継続的に摂取される場合には、人の健康を損なうおそれのある物質で、大気汚染の原因となる有害物質のうち、環境基準が定められているベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタンの4物質について、市内2か所で汚染状況の調査を行った。4物質全てで環境基準を達成していた。</p>	環境保全課

(2) 工場・事業場対策の充実等

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
① 生活環境保全事業	<p>騒音規制法および振動規制法に基づく以下の届出を受理した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・騒音規制法に基づく届出 15件(設置・廃止・氏名変更等) ・振動規制法に基づく届出 9件(設置・廃止・氏名変更等) ・特定建設作業届出 騒音規制法に基づく届出 15件 振動規制法に基づく届出 14件 	環境保全課
② 道路工事の環境指導	<p>道路工事に関する許可証や承認証に、騒音、振動等に配慮するよう条件を付している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路占用許可件数 2,366件 ・自費工事施行承認件数 91件 	建設総務課

(3) 生活環境の保全対策の充実等

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
① 生活環境保全事業	<p>騒音、振動、悪臭に関する苦情相談は合計で33件となっており、内訳は次のとおりであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・騒音苦情 16件(建物の建築・解体現場での重機による作業音、事業所から発生する作業音) ・振動苦情 4件(騒音苦情と同じく建物の建築・解体現場での重機による振動) ・悪臭苦情 13件(畑等からの堆肥臭や腐敗臭、生活活動による雑排水からの悪臭、事業活動による悪臭等) 	環境保全課
② 環境配慮指針の普及・啓発	<p>「秋田市環境配慮行動計画」および「秋田市地球温暖化対策実行計画」について、ホームページへの掲載等により、その周知を図った。</p>	環境総務課
③ 開発行為の指導・許可	<p>開発許可に際し、開発工事中の環境保全対策等の条件を付した(平成27年度開発許可実績13件)。</p>	都市計画課

第2章 多様な自然をとつとび、身近な緑に親しみ、豊かな心をはぐくみます

第1節 自然環境

(1) 多様で貴重な自然の保全

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
① 自然環境現況調査	秋田市自然環境保全条例第3条第5項に規定する自然環境の保全等のための調査、研究、情報の提供、助言等を行うことを目的に、本市の環境保全行政の基礎資料とする自然環境に関する調査を行った。 ・補完調査 平成16年度に実施した旧市内自然環境調査を補完することを目的として、雄物川河口域の南北に広がる海岸砂丘に生息する陸上昆虫の調査を行った。 【調査期間】平成27年6月～8月 【確認種】129科496種(うち重要種10種) 【重要種】国が定めているレッドデータブックにおいて絶滅危惧種Ⅱ類指定である「イソコモリグモ」、「エゾアカヤマアリ」の計2種を確認ほか、準絶滅危惧の「クロマルハナバチ」等を確認	環境総務課
② 特別天然記念物カモシカ食害対策事業	農業被害に対して防護網4,100m、忌避臭袋30セットを支給した。また、林業被害に対して忌避剤を0.17haに塗布した。	文化振興課
③ 命のつなぎ(種の保存)事業	・動物園内の自然沼、塩曳潟(しおひきがた)に生息する絶滅危惧種ゼニタナゴについて、NPO法人秋田水生生物保全協会、ボランティアの協力により、沼の生息状況調査などを実施し23名の参加があったほか、ゼニタナゴの保全のために作製した池(保護池)の中で、75尾の稚魚を孵化させ、26尾を沼に放流した。 ・また、同じ保全池の中でゼニタナゴが卵を産む貝の繁殖にも成功し、稚貝を含む約1,900個を沼に放流した。さらに、ゼニタナゴ保全活動の一環として、地元小学生などボランティアと共に外来生物アメリカザリガニの駆除に努め、年間を通じて372尾を駆除した。 ・大森山公園の自然の普及啓発を目的とした自然観察会を実施し9名の参加があった。	大森山動物園

(2) 自然とふれあいの場の創出

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
① 都市・農村交流促進事業	・6月7日(日) 河辺せせらぎウォーク へそ公園～鶴養～伏伸の滝を往復するウォーキング企画:参加者706名 ・6月16日(火) 保育園の野外保育 保育園と鶴養老人クラブの交流活動:参加者55名 ・7月27日(金) 第1回じゃんごで遊ぼう 流しそうめん、自然散策、野菜収穫体験ほか:参加者14名 ・9月15日(火) 第2回じゃんごで遊ぼう 陶芸体験、油谷これくしょん見学、果樹収穫体験ほか:参加者25名 ・10月10日(土) 第3回じゃんごで遊ぼう 稲刈り体験、まきわり体験、みそたんぼ作りほか:参加者26名 ・10月23日(金) まるごとJANGO体験ツアー 味噌作り体験、岨谷峡散策、果樹収穫体験ほか:参加者23名 ・1月15日(金) なまはげ&餅つき体験 餅つき体験、郷土料理の試食、なまはげ体験:参加者31名 合計:880名	農業農村振興課
② 太平山自然学習センター運営事業	小中学生の宿泊研修や自然体験活動等の主催事業を実施した。 ※別添資料→42ページ	太平山自然学習センター

第2節 身近な自然

(1) まちの中の緑の保全と創出

取組名	27年度の実績	担当課所室
① 道路緑化整備事業 【再掲】	街路樹の維持管理として、川尻八橋線ほか46路線、延べ19,343㎡の植樹帯等の除草を実施したほか、泉ハイタウン29号線ほか41路線、1,027本の高木剪定ならびに鉄砲町菅野線ほか11路線のツツジ等の冬囲いを実施するとともに、街路樹欠損木の補植21本、通行の安全確保のため、街路樹根上がり補修を28か所実施した。	道路維持課
② 都市景観形成事業	景観計画区域内における行為の届出(大規模行為)届出総件数86件に対し、審査および指導を行い、その全てに対し、景観形成基準に適合する旨の判断をした。	都市計画課
③ 都市公園整備事業	千秋公園のさくら景観整備等を実施した(進捗率(事業費ベース)80.4%)。	公園課
④ 吸収源対策公園緑地事業	地球温暖化対策の一層の促進を図るため、温室効果ガス吸収源対策に資する公園緑地の再整備を実施するもので、平成27年度は榎山街区公園および潟中島街区公園の再整備を実施した。 ・事業期間 平成25年度から29年度まで	公園課
⑤ 都市公園バリアフリー化事業	都市公園のバリアフリー化を図り、障がい者、高齢者や子供など、誰でも安心して利用できる公園の再整備を実施するもので、平成27年度は川尻西街区公園および飯島西部街区公園の再整備を実施した。	公園課
⑥ 保存樹管理事業	秋田市が指定した保存樹が、偶然の事故により第三者の生命、身体や財物に損害を与えたことにより、秋田市および樹木の所有者や管理者が法律上の損害賠償を負った場合に備え、総合賠償責任保険に加入した。	公園課

(2) 親しみやすい水辺の保全と創出

取組名	27年度の実績	担当課所室
① 内水面資源維持対策事業	各事業主体で、魚の放流を行った。 ・岩見川漁業協同組合(定額補助 1,675千円) 事業実施期間 5月11日～7月13日 放流河川:岩見川 業種/放流日/購入・放流数 ア ヌ(6/2、5) 83,000尾 ヤマメ(6/2、12、21) 120,000尾 イワナ(6/21) 15,000尾 ・仙北西部漁業協同組合(定額補助 174千円) 事業実施期間 5月13日～12月3日 放流河川:雄物川 業種/放流日/購入・放流数 ア ヌ(5/26) 200kg ヤマメ(6/19) 5,000尾 イワナ(7/17) 15,000尾 コ イ(10/21) 150kg ・秋田市購入 業種/放流日/購入・放流数 サ ケ(4/19) 30,000尾 放流河川:旭川 主体:秋田青年会議所 ア ヌ(5/27) 1,000尾 放流河川:旭川 主体:旭川清流友の会 ヤマメ(6/16) 2,000尾 放流河川:白山川 主体:上新城地区振興会、上新城小学校	農業農村振興課
② 河川改修事業	普通河川古川の牛島工区において、護岸改修工事に伴う建物調査を実施した。	道路建設課

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
③ 河川環境整備事業	普通河川古川について、延長133mの河道閉塞部の土砂浚渫および延長50mの護岸整備をした。	道路建設課
④ 橋りょう整備	道路予備設計および土質調査を実施した。	道路建設課

(3) 雪と向き合うまちづくりの実践

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
① 除排雪対策事業	冬期間の市民生活の安全・安心の確保と都市機能の維持を図るため、ゆき総合対策基本計画に基づき、「秋田市道路除排雪対策本部」を設置し、効果的な道路除排雪の推進を図った。	道路維持課
② 雪みち計画(歩道無散水消融雪施設の設置)	市道中通本線ほか1路線歩道消融雪設備工事(L=314.1m)により整備した。	道路維持課
③ 冬みち安全安心対策除雪強化事業	凍結抑制剤散布車を2台購入(更新)した。	道路維持課
④ 市民向け除排雪支援制度の充実	・小型除雪機械を15町内に貸し出し、地域の除排雪作業を支援した。 ・ダンプトラックまたは積込機械を1町内に貸し出し、地域の除排雪作業を支援した。	道路維持課
⑤ 公共交通の確保	・地方バス路線維持対策事業 生活バス路線の維持のため、運行維持が困難な赤字バス路線への補助を行った。 ・バス交通総合改善事業 郊外部における不採算バス路線の廃止代替交通を運行した。 秋田市マイタウン・バス西部線、北部線・笹岡線、南部線、東部線の運行を継続した。	交通政策課
⑥ 融雪施設改良事業	市道さつき台団地1号線ほか1路線の融雪施設改良工事(L=157.7m)により整備した。	道路維持課

第3節 自然の公益的機能

(1) 森林の公益的機能の保全と活用

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
① 地域防災計画策定事業	地域防災計画を引き続きホームページで公開するなど、周知に努めた。	防災安全対策課

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
② 森林環境保全整備事業	<p>民有林の保育作業等に対する支援のため、森林施業に必要な地域活動に対して7地区の地域活動250.00haに対し交付金を交付したほか、民有林21か所154.24haに対し間伐経費の一部を助成し、一層の間伐促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林整備地域活動支援事業 林業事業者等による森林情報の収集活動や、森林所有者等による施業実施区域の明確化作業等の地域活動を支援した。 森林整備地域活動支援交付金 森林施業に必要な地域活動に対して交付金を交付 対象地区 7地区 面積 250.00ha ・森林環境保全整備事業 民有林の間伐促進を図るため森林組合等が行う間伐事業費の一部を助成した。 間伐事業費の助成 森林組合数 1団体(秋田中央森林組合) 事業量 21か所 154.24ha 	農地森林整備課
③ 市有林経営	<p>森林経営計画に基づき、造林木の良質化と森林の公益的機能の高度発揮を図るため、計画的な保育施業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造林事業 枝打 16.52ha 除伐 16.52ha 保有間伐 108.17ha 	農地森林整備課
④ 県単局所防災事業	<p>山地崩壊による公共施設および人家被害を未然に防止するため、保全施設を設置してきたが、平成26年度をもって事業終了した。</p>	農地森林整備課
⑤ 森林病虫害等防除事業	<p>森林病虫害等防除法および秋田県森林病虫害等防除事業実施要領に基づき、森林病虫害等(松くい虫、カシノナガキクイムシ等)の早期かつ徹底的な駆除、森林病害のまん延防止により、森林の保全を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林病虫害等防除事業 森林病虫害等防除 防除地区 6地区 外旭川、檜山、手形山、広面、浜田、泉 事業量 特別伐倒駆除(破碎) 材積数量 141.34m³(193本) 伐倒駆除(くん蒸) 材積数量 970.93m³(887本) 薬剤散布 散布面積 4.99ha 樹幹注入 対象木 26本、薬剤本数 152本 	農地森林整備課
⑥ 林道の整備	<p>林道の輸送力の向上と通行の安全確保を図るため、測量設計および林道舗装を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・檜田線 地区 豊岩小山地区 事業量 林道舗装工事 L=664m W=3.0~4.0m 	農地森林整備課
⑦ 水と緑の森づくり事業	<p>松くい虫により枯死し、景観維持又は安全面から支障になる立木の伐採処理を「マツ林健全化整備事業」として1,887.28m³実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水と緑の森づくり事業 森林環境の保全を図るため、「秋田県水と緑の森づくり税」を活用し、マツ林およびナラ林において伐採処理等を実施した。 ・マツ林・ナラ林等健全化事業 地区 下浜 事業量 伐採処理 処理量 1,887.28m³ 	農地森林整備課

(2) 農地の公益的機能の保全と活用

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
① 地域防災計画策定事業【再掲】	地域防災計画を引き続きホームページで公開するなど、周知に努めた。	防災安全対策課
② スーパー市民農園整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・椿台スーパー農園 区画数 137 平成27年4月11日(土) 農園使用開始 平成27年8月5日(水) 栽培講習会および農園一斉清掃 平成27年10月31日(土) 農産物展示会 ・仁井田スーパー農園 区画数 341 平成25年度に増設した84区画について使用開始した。 平成27年4月11日(土) 農園使用開始 平成27年10月31日(土) 農産物展示会 	農業農村振興課
③ 都市・農村交流促進事業【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> ・6月7日(日) 河辺せせらぎウォーク へそ公園～鶺鴒～伏伸の滝を往復するウォーキング企画:参加者706名 ・6月16日(火) 保育園の野外保育 保育園と鶺鴒老人クラブの交流活動:参加者55名 ・7月27日(金) 第1回じゃんごで遊ぼう 流しそうめん、自然散策、野菜収穫体験ほか:参加者14名 ・9月15日(火) 第2回じゃんごで遊ぼう 陶芸体験、油谷これくしょん見学、果樹収穫体験ほか:参加者25名 ・10月10日(土) 第3回じゃんごで遊ぼう 稲刈り体験、まきわり体験、みそたんぼ作りほか:参加者26名 ・10月23日(金) まるごとJANGO体験ツアー 味噌作り体験、岨谷峡散策、果樹収穫体験ほか:参加者23名 ・1月15日(金) なまはげ&餅つき体験 餅つき体験、郷土料理の試食、なまはげ体験:参加者31名 <p style="text-align: right;">合計:880名</p>	農業農村振興課
④ 環境保全型農業直接支援対策事業	環境保全型農業に取り組んだ農家に対し、交付金を交付した。 1件 対象面積 稲作17.43ha 大豆0.75ha 交付金額 1,386,000円	農業農村振興課
⑤ 中山間地域等振興対策事業	協定締結集落1地区に交付金を交付した。 ・金足浦山 150,124円(A=23,457㎡)	農業農村振興課
⑥ 農道の整備	農業生産性の向上を図るため、未舗装の農道を市単独で舗装整備した。 地区数 5地区 太平八田地区ほか4地区 事業量 5路線(舗装延長 773m)	農地森林整備課
⑦ 市単独土地改良事業補助金	国・県の補助対象とならない小規模土地改良事業に対し、事業費の一部を補助した。 団体数 8団体 秋田市旭川筋土地改良区ほか7団体 地区数 8地区 7号線三ノ堰地区ほか7地区 事業量 8か所(水路改修5か所、揚水機改修2か所、農道改修1か所)	農地森林整備課

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
⑧ 県営土地改良施設等整備事業費負担金	<p>生産基盤の整備や災害の防止を目的として県が行う、ほ場、用排水路、ため池等の整備事業の円滑な実施を図るため、事業費の一部を負担した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地集積加速化基盤整備 地区数 6地区 雄和平沢地区ほか5地区 事業量 6地区(区画整理工、調査設計) ・ため池等整備 地区数 7地区 雄和釜ヶ沢地区ほか6地区 事業量 7地区(堤体法面工、頭首工、測量実施設計) ・戦略作物生産拡大基盤整備 地区数 1地区 雄和地区 事業量 1地区(用排水路工) 	農地森林整備課
⑨ 県単局所防災事業【再掲】	山地崩壊による公共施設および人家被害を未然に防止するため、保全施設を設置してきたが、平成26年度をもって事業終了した。	農地森林整備課
⑩ 土地改良施設管理費補助金	<p>多面的機能を有する土地改良施設の機能維持を図るため、施設整備費等の一部を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 団体数 3団体 旭川筋土地改良区ほか2団体 地区数 3地区 添川地区ほか2地区 事業量 3か所(用水路、揚水機、排水路) 	農地森林整備課
⑪ 土地改良施設維持管理経費	<p>要望等に基づき、農道の草刈り・修繕、水路修繕、砕石等の原材料交付および土地改良団体への負担金、陳情用務を行った。</p> <p>土地改良施設修繕等 ため池4か所、農道7か所、水路13か所、側溝1か所 維持管理している法定外公共物(市街化区域外)の補修、安全施設設置 農道草刈り、水路泥上げ等 農家等の申請に基づき、農道補修用の砕石交付等</p>	農地森林整備課
⑫ 農地・水・農村環境保全向上活動支援事業	<p>地域共同による農地・農業用水等の資源の良好な保全と農村環境の質的向上を図る取組を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみの共同活動費の助成 組織数 81組織 末戸松本みのり会ほか80組織 地区数 81地区 事業量 対象面積5,051.99ha 	農地森林整備課

(3) 海の公益的機能の保全と活用

取組名	27年度の実績	担当課所室
① 大気・水質等環境保全事業	地先海域と海水浴場の水質調査を行った。 ・秋田市地先海域および秋田港7か所 結果:人の健康の保護に関する項目および生活環境の保全に関する項目(延べ760項目)では、全調査地点で環境基準を達成していた。 ・3海水浴場(下浜、桂浜、浜田)のそれぞれ2か所 結果:開設前、開設中の調査ともに、全ての箇所ですべて「水質が良好な水浴場」と判定される水質AA又は水質Aであった。	環境保全課
② 定期フェリー便需要拡大推進	秋田県環日本海交流推進協議会「フェリー利用促進部会」に部会員として参加 (部会活動内容) 【部会の開催】 ・平成27年4月30日 【利用促進事業】 ・フェリー船内PR(DVD上映、県産品提供等) ・フェリー秋田航路貨物PRパンフレット作成 ・北海道PRイベント(小樽市・札幌市) ・長距離フェリー秋田航路利用の旅行商品広告へ助成 【宣伝活動事業】 ・フェリー秋田航路貨物PRパンフレット作成 ・秋田県人会北海道連合会総会でのフェリーPR活動	商工貿易振興課

第4節 歴史的・文化的環境

(1) 歴史的・文化的遺産の継承と活用

取組名	27年度の実績	担当課所室
① 都市公園整備事業【再掲】	千秋公園のさくら景観整備等を実施した(進捗率(事業費ベース)80.4%)。	公園課
② 地蔵田遺跡環境整備事業	市民ボランティアと協力して史跡の整備を実施したほか、市民参加による体験イベントや学習講座等を行い、郷土学習に活用した。 ・整備 3号竪穴住居屋根差し茅補修 6月7日～9日 木柵一部更新 7月4日、10月23日 ・体験イベント 弥生体験講座(差し茅・火おこし体験) 6月7日 弥生体験講座(石斧伐採・木柵復元体験)7月4日、10月23日 弥生体験講座(土器づくり) 7月11日 竪穴住居宿泊体験 8月1・2日 弥生体験講座(アクセサリーづくり) 8月10日 弥生体験講座(石器づくり) 9月19日 弥生っこ村まつり 10月10日 弥生体験講座(冬の散策会)2月11日	文化振興課

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
③ 史跡秋田城跡環境整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡秋田城跡環境整備工事 秋田城跡歴史資料館と史跡公園間の階段連絡路整備と駐車場整備を行った。 史跡内の環境整備として、危険樹木の伐採、整枝等を行った。 ・発掘調査 第106次調査を焼山地区北部で実施し、城外道路の一部を確認した(535㎡)。 ・活用事業 市民を対象に学習講座、史跡探訪会(史跡内の野鳥観察)、発掘調査現地説明会、秋田城跡パネル展(3回)を開催した。また、秋田城跡から出土した貴重な遺物を紹介するパンフレットを作成、配布した。さらに、小学生を対象とした発掘体験教室の開催や、地域住民と協同で活用イベントとして東門ふれあいデーを実施したほか、近隣の小学校で出前授業を実施した。 ・土地公有化事業 土地買い上げ予定面積390,221㎡(昭和41年～平成60年)のうち、平成27年度は3,592㎡を買い上げ、進捗率が72.95%となった。 	秋田城跡歴史資料館
④ 秋田城跡史跡公園管理事業	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡公園・公有化土地草刈り:約20ha(整備地5回、公有地2回) ・史跡公園沼清掃(1回) ・危険樹木伐採・整枝:13本 ・松枯れ防除:10本 ・東門地区階段修繕 ・政庁地区外灯修繕 ・鶴ノ木地区竪穴住居修繕 ・公衆・東門見学者トイレ清掃:2棟(2回/週) 	秋田城跡歴史資料館
⑤ 史跡秋田城跡歴史資料館(仮称)整備事業	資料館の展示工事と展示工事設計管理を行った。	秋田城跡歴史資料館
⑥ 文化財保護活用推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史の道活用事業として、文化財イラストマップを活用した文化財まちあるきを実施した。 期日:5月23日(土) 参加者数:14名 ・文化財保護強調週間(11月1日～7日)関連事業として文化財めぐりを実施した。 期日:11月13日(金) 参加者数:17名 ・文化財防火デー(1月26日)に伴い防火訓練等を実施した。 期日:1月26日(火) 参加施設・文化財:天徳寺、秋田聖救主教会、旧松倉家住宅、嵯峨家住宅、地蔵田遺跡、三浦館、秋田城跡調査事務所、旧金子家住宅、旧黒澤家住宅、旧秋田銀行本店本館 	文化振興課

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
⑦ 赤れんが郷土館、民俗芸能伝承館	<p>【赤れんが郷土館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展・常設展の開催 「メイド・イン秋田 秋田びいきな仲間たち」展を開催し、秋田に根ざし、活動を続ける作り手たちによる多彩な美術工芸作品を紹介したほか、4回の企画展を開催した。 勝平記念館で5回、関谷記念室で2回の展示替えを行い、郷土が生んだ先人とその作品について紹介した。 国の重要文化財「旧秋田銀行本店本館(赤れんが館)」の資料と秋田の伝統工芸品を紹介した。 ・教育普及事業 各展覧会や展示資料、郷土についてより理解を深めるための講座を8講座10回開催したほか、第21回赤れんが館コンサートを開催した。 赤れんが館の魅力を高めると同時に、赤れんが郷土館周辺のにぎわい創出につなげるために、7月7日にキャンドルナイトと雅楽の調べを開催した。また竿灯期間中には「洋風建築で秋田の竿燈」を開催した。 ・ネットワーク事業 秋田市内の県立・市立の文化施設ネットワーク(愛称:みるかネット)の事業として、ギャラリートークリレー、みるかネット講座を開催した。 <p>【民俗芸能伝承館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設展の開催 国の重要無形民俗文化財である「秋田の竿燈」をはじめとした郷土の民俗行事・芸能に関する資料や、市の有形文化財である旧金子家住宅を紹介した。 ・教育普及事業 秋田民謡講座などの講座を5講座18回開催したほか、市内の民俗芸能の保存と啓発、伝承を目的に民俗芸能合同発表会を開催した。 ・資料調査事業 来館者の理解を深めるため「民俗芸能・行事解説シート」を作成し、館内に設置した。 	赤れんが郷土館
⑧ 佐竹史料館	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展(年3回) ・常設展(年2回) ・学習講座(6講座、14日間) ・黒澤家日記解読事業(天保12年資料集(十七)を解読刊行した。) ・館蔵資料の修復および資料調査収集事業 	佐竹史料館

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
⑨ 千秋美術館	<p>【常設展の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡田謙三記念館の常設展示を行った(2回展示替、通年)。 ・コレクション展「秋田蘭画の世界」など3回開催した。 <p>【企画展の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「掌中の珠－高円宮家コレクションの根付－」展など3回開催した。 <p>【企画展の関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会を開催した(4回)。 ・スペシャルギャラリートークを開催した(2回)。 ・呈茶席、ティー・セミナーおよび製作実演などを開催した(8回)。 <p>【美術資料充実事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄贈作品 寺崎廣業・「美人図」など13点 ・寄託作品 小田野直武・「鷹図」など2点一式 ・修復作品 紺野五郎・「留守家族の季節」など4点 <p>【教育普及事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術館来館記念カード「千秋美術館へ行こう!」、美術館作品鑑賞カードを発行した。 ・ワークショップ・実技講座を開催した(「根付ストラップをつくってみよう!」ほか11回)。 ・美術講座を開催した(「もういちど西洋絵画入門!・シュルレアリスム」ほか1回)。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図録フェアを開催した(12月18日から2月28日まで)。 ・アトリオン文化創造事業「ヒゲ博士とナンセンスマシーン展」など2回開催した。 	千秋美術館
⑩ 藤倉水源地	見学会を開催 開催日 平成27年7月3日 参加者 12名	上下水道局総務課
⑪ 竿燈まつり振興事業	秋田竿燈まつりの実施における環境衛生および安全対策に係る経費について、秋田市竿燈まつり実行委員会に対し、補助・支援を行った。	観光振興課
⑫ 桜・つつじまつり事業	太平川の桜まつり(観桜会)実施における会場設営やイベント実施等に係る経費について、太平川観桜会実行委員会に対し、開催事業費を補助した。	南部市民サービスセンター
⑬ 桜・つつじまつり事業	あらやさくら公園観桜実行委員会に対して開催事業費を補助した。	西部市民サービスセンター
⑭ 土崎港まつり支援	地域資源である伝統行事の伝承・保存を図るため、国の重要無形民俗文化財の「土崎神明社例祭の曳山行事」を中心とする土崎港まつりの開催に対し支援した。	北部市民サービスセンター

(2) 歴史的・文化的環境を活かした活動の支援

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
① 秋田市民交流プラザ 市民活動育成・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザー相談件数 236件 ・市民活動団体等による打合せ利用回数 585件 ・講座関係 <ul style="list-style-type: none"> ボランティア・NPO支援講座 3回(計63名) ボランティア・NPOスキルアップ講座 3回(計54名) まちづくり市民活動講座 1回(17名) ・市民活動フェスタ(市民活動団体ブース展示等) 1,094人参加 	中央市民サービスセンター
② 文化施設等の事業 や活動	<ul style="list-style-type: none"> ・千秋美術館 入館者数 37,372人 企画展3回と常設展を開催、ワークショップや講座等の教育普及事業を行った。 ・赤れんが郷土館 入館者数 21,333人 企画展5回と常設展の開催、赤れんが館コンサート等の教育普及事業を行った。 ・民俗芸能伝承館・旧金子家住宅 入館者数 35,244人 施設利用者数 10,940人 常設展示と秋田市民俗芸能合同発表会等の教育普及事業を行った。 ・佐竹史料館・久保田城御隅櫓・旧黒澤家住宅 入館者数 46,258人 企画展5回と常設展の開催、佐竹史料館学習講座等の教育普及事業を行った。 ・文化会館 入館者数 306,279人 自主事業としてNHK公開収録「民謡をたずねて」、「親子で文化会館の舞台裏を探検しよう」、「ドイツ・パッサウ市音楽家公演」、劇団四季「こころの劇場」、「あきたヒストリーシアター2015」舞台公演を行った。 	文化振興課
③ 文化振興基金事業	<ul style="list-style-type: none"> ・第32回秋田市文化選奨 芸術・学術分野において前年度優れた作品・成果を発表し、本市文化の振興に寄与した個人・団体を表彰した。 受賞者 (工芸部門) 堀内規代 「オーロラに近い頂きに立つ」 (文芸部門) 前田勉 「橋上譚」 表彰式 平成27年7月22日 場所 秋田ビューホテル ・秋田市文化振興助成事業 本市文化の向上に寄与すると認められる市民の自主的な文化活動に対し、事業費の一部を助成した。 一般枠 6件 ヤングクリエイター枠 4件 	文化振興課
④ 公民館や図書館等の 事業や活動	<ul style="list-style-type: none"> 各公民館や市民サービスセンター、図書館等では、各種学級や写真展示・資料展示などで、郷土の歴史や文化を自主的に学び、地元や秋田県内に伝わる郷土芸能伝承活動に取り組んだ。 ・公民館等(3公民館、4市民サービスセンター) 14件 参加延べ人数 2,687人 ・図書館(3館) 6件 参加延べ人数 726人(講座等、写真展・資料展示) 	生涯学習室

第3章 知恵と工夫で、限りある資源とエネルギーを大切にします

第1節 廃棄物

(1) 廃棄物等の発生抑制

取組名	27年度の実績	担当課所室
① 一般廃棄物処理基本計画の策定・管理	平成27年3月に策定した一般廃棄物処理基本計画に基づき、目標達成に向けた個別施策を関係課所室で実施するとともに、平成28年度以降に数値目標の評価をしていくため、毎月、家庭系ごみ排出量等の集計を行った。	環境都市推進課
② ごみ減量対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭系生ごみの減量を一層推進するため、生ごみ堆肥化容器の購入に対し、補助した(1基につき上限3,000円、1世帯2基まで)。 販売基数 100件 補助金額 217,700円 ・生ごみ堆肥づくりを支援するため、コンポスター、ダンボール箱、EM菌を活用した講座を開催した。 参加人数 290人 ・廃棄物の適正分別によるごみの減量とリサイクルの推進を図るため、資源化物を回収する集団回収の実施団体および回収業者に対し、奨励金を交付した。 奨励金交付団体 572団体 奨励金 14,353,871円 ・平成27年度の回収品目の単価(1kg当たり) 雑誌・雑がみ 6円 新聞・ダンボール箱・紙パック 2円 空きビン・空き缶 1.5円 ・ごみ減量・分別説明会を開催した。 39回 ・マイバッグ作り講座を開催し、ごみ減量を啓発した。 ステンシル、染めなど 12回 801人 新聞エコバッグ作り 5回 140人 ・マイバッグ推進、レジ袋削減ポスターを市関係機関や店舗等に配布し掲示した。 A1判 300枚 ・食べきりポスターを飲食店に配布し掲示した。 A1判 83枚 	環境都市推進課
③ 環境学習推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校や児童館等へ訪問し、児童や親子に対してごみ減量や再資源化についての環境学習を行い啓発した。 ・学校等訪問回数 4回 	環境都市推進課
④ 総合環境センターの施設見学	<ul style="list-style-type: none"> 【溶融施設】 ・団体数 113団体 ・参加人数 3,717人 【リサイクルプラザ】 ・団体数 107団体 ・参加人数 3,684人 	総合環境センター

(2) 循環資源の再使用・再生利用

取組名	27年度の実績	担当課所室
① ごみ減量対策事業	240事業所を訪問し、調査・指導により、事業系一般廃棄物の分別・再資源化を図った。	環境都市推進課

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
② 古紙ステーション回収システムの支援	・古紙ステーション回収量 8,046t ・回収支援経費 18,303千円	環境都市推進課
③ 資源化物の適正処理	【容器包装リサイクル法に基づく、資源化物の特定事業者への引渡し量】 ・びん無色 954,040kg ・びん茶色 842,980kg ・びんその他 697,130kg ・PET 815,790kg 【資源化量】 ・缶 スチール 376,620kg ・缶 アルミ 569,940kg ・乾電池 24,530kg	総合環境センター
④ 廃棄物発電の実施	・1、2号溶融炉による発電量 53,341,230kWh ・平成27年度 売電収入 417,067,647円（税込み） ・売却電力CO ₂ 削減効果 12,685.5t-CO ₂	総合環境センター
⑤ メガソーラーによる発電の実施	・発電量 2,173,030kWh ・平成27年度 売電収入 93,874,896円（税込み） ・売却電力CO ₂ 削減効果 1,124t-CO ₂	総合環境センター
⑥ 溶融施設で発生するスラグおよびメタルの売却	溶融物売払 ・スラグ 8,203t(108円/t（税込み）) ・メタル 1,788t(216円/t（税込み）)	総合環境センター
⑦ 生活用品交換案内	登録受付件数 ・ゆずる 8件 ・ほしい 5件 ・交渉成立 0件	市民相談センター
⑧ グリーン購入・グリーン調達の推進	【環境総務課】 ・年間を通して、エコあきた行動計画に基づき、グリーン購入・グリーン調達を推進した。 ・四半期ごとに実績について報告を受けている。 【契約課】 用品調達基金により購入している事務用品については、グリーン購入法適合品とした。 ※別添資料→43ページ	環境総務課
⑨ 各種建設・改築事業	道路工事において、環境負荷の低減を図った。 ・バックホー等の施工機械について、排出ガス対策型とした。 ・コンクリート製品について、秋田県認定リサイクル製品（溶融スラグ入り）を活用した。	駅東工事事務所
⑩ 各種建設・改築事業	配水管整備事業や施設改良事業等を行った。 ・舗装材（アスファルト）は再生材を使用し、取り壊した舗装（アスファルト・コンクリート）は再生処理するなど、環境に配慮したまちづくりを実践した。 ・主要な建設機械には、排ガス対策型や低騒音型を使用し、生活環境に配慮しながら工事を行った。	水道建設課

(3) 廃棄物の適正処理

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
① 一般廃棄物処理基本計画の策定・管理【再掲】	平成27年3月に策定した一般廃棄物処理基本計画に基づき、目標達成に向けた個別施策を関係課所室で実施するとともに、平成28年度以降に数値目標の評価をしていくため、毎月、家庭系ごみ排出量等の集計を行った。	環境都市推進課
② 廃棄物処理施設の整備	<p>・ごみ処理 溶融施設大規模改修事業については、平成14年4月から稼働している秋田市総合環境センター溶融施設の主要機械設備および電気設備が、経年劣化により更新等が必要になっていることから、平成25年度から27年度までの3か年で大規模改修を実施しており、その3年目の改修を実施した。</p> <p>平成27年度事業費：1,015,576千円 （総事業費：2,221,458千円）</p>	総合環境センター
③ ごみ収集業務の収集体制の見直し	直営収集車の民間委託化は、平成22年度で当初計画どおり終了した(民間委託台数 51台)。	環境都市推進課
④ 粗大ごみ戸別収集事業	<ul style="list-style-type: none"> ・収集量 519t ・収集件数 19,990件 ・収集個数 48,224個 ・証紙売上額 18,082千円 	環境都市推進課
⑤ 産業廃棄物処理施設等の監視・指導	立入検査計画に基づき、立入検査を実施した。 立入件数273件(うち文書指導4件、口頭指導42件)	廃棄物対策課
⑥ 不法投棄対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・林道や側道を中心に10台の移動式監視カメラを設置した(延べ38か所に設置)。 ・委託、職員、不法投棄監視員によるパトロールを実施した。 委託によるパトロール 230日(早朝50日、夜間49日、日中131日) 職員によるパトロール 231日(早朝5日、夜間5日を含む) ・不法投棄監視員によるパトロール(随時) ・全国ごみ不法投棄監視ウィークの取組 市内14か所にのぼり旗の掲示 国土交通省秋田河川国道事務所との合同パトロールの実施(6/2) 環境展への出展(6/6) ・不法投棄ゼロ宣言事業を13地区で実施した。 実施地区(金足片田、下新城岩城、上新城道川、山内松原、太平野田、添川、上北手大山田、上北手寺村、下浜名ヶ沢、河辺戸島、河辺杉沢、雄和平尾島、雄和女米木) ・広報あきたおよびホームページを活用した啓発を実施した。 	廃棄物対策課

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
⑦ 一般廃棄物の適正処理	<p>【収集実績(家庭系)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭ごみ 59,624t ・粗大ごみ 519t ・資源化物 空きびん 2,386t 空きかん 1,061t ペットボトル 883t 金属類 562t ガス・スプレー缶 4t 使用済み乾電池 20t その他 古紙類 8,046t 集団回収 3,702t <p>【総合環境センター(処理量)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・溶融実績 121,126t ・埋立実績 4,239t ・破碎処理実績 2,506t ・実績合計 127,871t <p>【汚泥再生処理センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・処理実績 40,196kl 	環境都市推進課
⑧ 畜産環境対策・有機農業等推進業務	<p>家畜排せつ物に関しては、秋田県および関係機関と連携し、秋田市内2地域(下北手・河辺)を対象とした巡回を行い、適正な処理と有効活用啓発活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査日 平成27年6月12日 ・対象畜産農家3戸(牛飼養3戸) 	農業農村振興課

第2節 エネルギー・水資源

(1) 省エネルギーの推進と利用効率の向上

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
① 環境配慮指針の普及・啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・「秋田市環境配慮行動計画」および「秋田市地球温暖化対策実行計画」をホームページに掲載し、その周知を図った。 ・環境配慮に関する情報紙「eー市民だより」を発行(隔月)し、啓発イベントでの配布、公民館やコミュニティセンター等の公共施設への掲示により、意識啓発を図った。 	環境総務課
② エコオフィスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・エコあきた行動計画に基づき、年間をとおして実施した。 ・四半期ごとに取組実績を報告させ、前年度同期との比較表を作成し、意識付けを行った。 <p>※別添資料→43ページ</p>	環境総務課

取組名	27年度の実績	担当課所室
③ 定期フェリー便需要 拡大推進【再掲】	秋田県環日本海交流推進協議会「フェリー利用促進部会」に部会員として参加 (部会活動内容) 【部会の開催】 ・平成27年4月30日 【利用促進事業】 ・フェリー船内PR(DVD上映、県産品提供等) ・フェリー秋田航路貨物PRパンフレット作成 ・北海道PRイベント(小樽市・札幌市) ・長距離フェリー秋田航路利用の旅行商品広告へ助成 【宣伝活動事業】 ・フェリー秋田航路貨物PRパンフレット作成 ・秋田県人会北海道連合会総会でのフェリーPR活動	商工貿易振興課
④ グリーン購入・グリーン調達の推進【再掲】	【環境総務課】 ・年間を通して、エコあきた行動計画に基づき、グリーン購入・グリーン調達を推進した。 ・四半期に一度、実績について報告を受けている。 【契約課】 用品調達基金により購入している事務用品については、グリーン購入法適合品とした。 ※別添資料→43ページ	環境総務課
⑤ スマートシティ情報統合管理基盤の構築	センサーを設置するなど、市役所のエネルギー使用状況の可視化を行い、エネルギー削減に努めた。その結果、センサー設置施設では、平成23年度比5.0%削減を達成した。	環境総務課
⑥ 地域ESCO事業の導入	平成24年度に省エネルギー改修等を行った市有4施設についてESCO事業を継続して実施した。	環境総務課
⑦ 町内防犯灯のLED化	平成24年10月1日からESCOサービスを開始し、平成34年9月30日までの10年間の維持管理はESCO事業によることとしている。ESCOサービス料の支払は平成24年度から26年度まで3か年で完了しているが、平成27年度は、引き続きESCO事業者が維持管理を行った。	生活総務課
⑧ 長期優良住宅の認定	平成27年度 認定件数254件	住宅整備課

(2) 新エネルギー利用の促進

取組名	27年度の実績	担当課所室
① 新エネルギー普及・啓発事業	市内の住宅に太陽光発電システムを設置し、又は市内に太陽光発電システム付き住宅を購入する市民に補助金を交付し、新エネルギーの普及を図った。 ・補助件数 75件 ・総最大出力 383.72kw ・補助総額 7,066千円 あきた次世代エネルギーパーク事業で、市民向け施設見学会などを実施し、新エネルギーに対する理解の向上と普及促進を図った。 ・見学者数 73団体 1,016人 メガソーラー事業で、再生可能エネルギーに対する理解と普及啓発を図った。 ・発電量 2,173,030kWh ・平成27年度 売電収入 93,874,896円(税込み) ・売却電力CO2削減効果 1,124t-CO2	環境総務課

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
② 廃棄物発電の実施【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> ・1、2号溶融炉による発電量 53,341,230kWh ・平成27年度 売電収入 417,067,647円(税込み) ・売却電力CO₂削減効果 12,685.5t-CO₂ 	総合環境センター
③ 公共施設整備にあつた新エネルギーの導入	<p>秋田県の公共施設再生可能エネルギー等導入事業費補助金を活用し、市有施設への再生可能エネルギーを導入した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎 太陽光発電 72.15kW ・新庁舎 地中熱(空調) 205kW ・新庁舎 地中熱(融雪) 180kW ・河辺中学校 太陽光発電 15.9kW ・雄和中学校 太陽光発電 15.9kW ・御所野学院中学校 太陽光発電 15.9kW ・一つ森公園コミュニティ体育館 太陽光発電 15.9kW ・御所野学院高等学校 ペレットボイラー 581kW ・雄和観光交流館 ペレットストーブ 10kW 	環境総務課

(3) 水資源の保全と有効利用

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
① 秋田市水道事業基本計画に基づく取組	<p>【配水管整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・布設および布設替延長 21,973.3m ・事業費 1,602,508千円 <p>【漏水調査業務委託】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査延長 922.0km ・調査戸数 80,335戸 ・事業費 31,849.2千円 <p>【平成27年度有効率 94.3%】</p>	上下水道局総務課
② 地下水の水質監視	<ul style="list-style-type: none"> ・地下水質測定計画に基づき、33井戸において調査を行った(内訳 概況調査22、継続監視5、モニタリング調査6(土崎地区))。 ・継続監視調査を実施した5井戸において、硝酸性窒素および亜硝酸性窒素が1井戸で環境基準を達成できなかった。 ・土崎地区モニタリングを実施した6井戸のうち、テトラクロロエチレンが1井戸で環境基準を達成できなかった。 ・その他は、環境基準を達成していた。 	環境保全課
③ 雄物川水系水質汚濁対策連絡協議会との連携	<p>国、県および秋田市を含む流域8市町村で構成する雄物川水系水質汚濁対策連絡協議会では、雄物川の環境美化や環境保全を図るため、流域一斉のクリーンアップの実施や油流出事故等に関する情報を共有するため、連絡体制の整備・強化を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雄物川流域一斉清掃の実施 <ul style="list-style-type: none"> 日時 5月24日(日) 場所 雄物川右岸 参加人数 466名 回収量 0.8t ・雄物川水系水質事故緊急措置演習の実施(油類流出事故を想定) <ul style="list-style-type: none"> 日時 10月23日(金) 場所 秋田市仁井田字柳林地内(秋田南大橋上流右岸、古川排水樋門付近) 	環境保全課
④ 森林の整備	<p>造林木の良質化と森林の公益的機能の高度発揮を図るため、保育施業として間伐を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造林事業 ・枝打 16.52ha 除伐 16.52ha 保有間伐 108.17ha 	農地森林整備課

第4章 世代や地域を越えてともに語らい、環(わ)となって取り組みます

第1節 環境保全活動

(1) 市民の環境保全活動の促進

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
① ごみ減量対策事業	平成27年1月～12月までの資源集団回収量 ・びん13.2t・金属34.2t・新聞2,297.8t・ダンボール725.0t・雑誌類710.0t・紙パック0.8t・合計3,781.0tを回収した。	環境都市推進課
② 自然環境保全市民活動計画の推進	自然環境保全条例に基づき、市民活動計画として認定した団体の活動支援および活動のPRを行った。 【市民活動計画認定団体(5団体)】 ・大学病院前の水辺環境を守る会(愛称:ホータル会) 会員数:約80名 活動内容:水路の清掃、草刈り、生物の勉強会など ・日本野鳥の会秋田県支部 会員数:約250名 活動内容:野鳥観察 ・秋田森の会・風のハーモニー 会員数:約300名 活動内容:炭焼き体験、植樹、森林体験など ・高清水町内会緑を守る会 会員数:約500名 活動内容:池周辺の植栽、草刈り、桜祭りなど ・おのぼホテル会 会員数:約30名 活動内容:ホテルを取り巻く自然環境の保護、清掃、下刈りなど	環境総務課
③ 活動団体への講師の派遣	各種環境学習会の開催に際し、職員を講師として派遣した(環境学習サポート事業22回)。	環境総務課
④ 消費者啓発事業	消費者講座開催時のパネル展で、ごみ減量などに関する啓発ポスターを掲示した。	市民相談センター
⑤ 空閑地の美化事業	空閑地の除草の指導・勧告を行い、良好な生活環境の確保に努めた。 ・除草指導・勧告件数:52件	公園課

(2) 事業者の環境保全活動の促進

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
① 公害防止管理者等設置指導	特定工場における公害防止組織の整備に関する法律に基づく次の届出を受理した。 ・公害防止統括者等の届出 公害防止組織に関する届出:12件	環境保全課

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
② 製造業環境担当者との情報交換	開催実績なし(法令等の改正なし)	環境保全課
③ 事業系廃棄物減量・再資源化事業	指導事業所 240事業所	環境都市推進課

(3) 市、事業者、市民の連携の推進

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
① 秋田市環境活動推進協議会との連携	平成27年度から協議会の1会員として携わり、各種の研修会等に参加したほか、その支援に努めた。	環境総務課
② エコマップ作成	実績なし	環境総務課

第2節 環境配慮対策

(1) 環境情報の整備と共有化

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
① 「広報あきた」の発行	次の号に特集(1ページ以上)として関連記事を掲載したほか、必要に応じて「不法投棄防止」、「全市一斉清掃」、「環境イベント告知」などを通常記事として掲載し、平成28年1月から「毎月の1人1日当たりの家庭系ごみ排出量」を広報表紙に月1回掲載した。 ・特集記事 平成27年4月17日号「“食べきり”でごみ減量」 平成27年11月20日号「食べきりアイデアレシピ集」 平成28年2月19日号「平成26年度『秋田市決算～家庭ごみ処理手数料編』」	広報広聴課
② 市政番組の放送	環境をテーマにした番組を放送し広く市民にPRした。 広報テレビ番組 ・15分番組(民放1局) 平成27年4月放送「秋田市の再生可能エネルギー」 ・5分番組(民放3局) 平成27年11月放送「だれでもできる エコドライブのすすめ」 平成27年11月放送「市民リポーターが紹介 ごみ減量アクション」 平成28年2月放送「市民リポーターが紹介 使用済小型家電の回収・リサイクルにご協力を」 広報ラジオ番組(民放2局) 平成27年9月放送「稲わら焼きをやめましょう」 平成28年1月放送「使用済小型家電の回収・リサイクルにご協力を」 平成28年2月放送「水銀体温計血圧計の薬局での回収について」	広報広聴課
③ 環境情報の整備・提供	・ホームページ、広報、テレビ、ラジオ、新聞等を通じた情報提供の充実に努めた(環境部各課所)。 ・「あきた次世代エネルギーパーク」について、ホームページに掲載し、周知を図った(環境総務課)。 ・「秋田市地球温暖化対策実行計画」を作成し、ホームページ等で公表した(環境総務課)。 ・「秋田市環境基本計画年次報告書」を作成し、ホームページで公表した(環境総務課)。 ・地球温暖化対策情報提供誌「eー市民だより」を発行(6回)した(環境総務課)。 ・小学生環境学習副読本「私たちのくらしとかんきょう」を作成し、市内の小中学校等に配布した(環境総務課)。 副読本2,730部 指導のてびき110部	環境総務課

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
④ 地域防災計画策定事業【再掲】	地域防災計画を引き続きホームページで公開するなど、周知に努めた。	防災安全対策課

(2) 環境配慮に係るしくみの整備

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
① 大規模小売店舗立地法に基づく周辺環境配慮	大規模小売店舗立地法に基づく届出に対し、当該店舗の周辺の地域の生活環境の保持の観点から意見の有無を通知した。 ・法第5条第1項 0件 新設の届出…0件 ・法第6条第2項 2件 小売業者を行う者の閉店時刻の変更…0件	商工貿易振興課
② 開発指導による環境配慮	開発行為の協議時において、開発工事中の環境保全対策を指導した。 平成27年度開発許可実績 13件	都市計画課

(3) 環境に配慮したまちづくりの実践

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
① 各種建設事業	桜地区コミュニティセンター(仮称)新築工事において、冷暖房効率を上げるための複層ガラスサッシやガスヒートポンプの導入、消費電力の少ないLED照明を採用した。	生活総務課
③ 各種建設事業【再掲】	配水管整備事業や施設改良事業等を行った。 ・舗装材(アスファルト)は再生材を使用し、取り壊した舗装(アスファルト・コンクリート)は再生処理するなど、環境に配慮したまちづくりを実践した。 ・主要な建設機械には、排ガス対策型や低騒音型を使用し、生活環境に配慮しながら工事を行った。	水道建設課
② 各種建設事業【再掲】	道路工事において、環境負荷の低減を図った。 ・バックホー等の施工機械について、排出ガス対策型とした。 ・コンクリート製品について、秋田県認定リサイクル製品(溶融スラグ入り)を活用した。	駅東工事事務所
④ 各種活性化事業	まちあかり・ふれあい推進事業 ・町内自治活動助成金 28,542千円 ・防犯灯電気料助成金 37,288千円 ・灯具交換・補修費助成金 209千円 ・町内防犯灯設置委託 5,415千円	生活総務課

第5章 一人ひとりが秋田を知り、地球に学び、未来を想い、行動します

第1節 環境教育・環境学習

(1) 環境情報の収集と提供

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
① 「広報あきた」の発行【再掲】	次の号に特集(1ページ以上)として関連記事を掲載したほか、必要に応じて「不法投棄防止」、「全市一斉清掃」、「環境イベント告知」などを通常記事として掲載し、平成28年1月から「毎月の1人1日当たりの家庭系ごみ排出量」を広報表紙に月1回掲載した。 ・特集記事 平成27年4月17日号「“食べきり”でごみ減量」 平成27年11月20日号「食べきりアイデアレシピ集」 平成28年2月19日号「平成26年度『秋田市決算～家庭ごみ処理手数料編』」	広報広聴課
② 市政番組の放送【再掲】	環境をテーマにした番組を放送し広く市民にPRした。 広報テレビ番組 ・15分番組(民放1局) 平成27年4月放送「秋田市の再生可能エネルギー」 ・5分番組(民放3局) 平成27年11月放送「だれでもできる エコドライブのすすめ」 平成27年11月放送「市民リポーターが紹介 ごみ減量アクション」 平成28年 2月放送「市民リポーターが紹介 使用済小型家電の回収・リサイクルにご協力を」 広報ラジオ番組(民放2局) 平成27年9月放送「稲わら焼きをやめましょう」 平成28年1月放送「使用済小型家電の回収・リサイクルにご協力を」 平成28年2月放送「水銀体温計血圧計の薬局での回収について」	広報広聴課
③ 環境教育の実施	【総合的な学習の時間に自然体験を行っている学校】 小学校44校中34校(77.3%) 中学校24校中14校(58.3%) 【環境教育をねらいとした活動の実施状況】 ・校舎、校地以外のクリーンアップ 小学校44校中24校(54.5%) 中学校24校中21校(87.5%) ・学校農園、学校林活動等の緑化活動 小学校44校中34校(77.3%) 中学校24校中2校(8.3%) ・川の水質汚染、酸性雨等の調査活動 小学校44校中5校(11.4%) 中学校24校中1校(4.2%) ・古紙、空きびん、空き缶回収等のリサイクル活動 小学校44校中27校(61.4%) 中学校24校中17校(70.8%) ・ごみの減量化 小学校44校中22校(50.0%) 中学校24校中6校(25.0%)	学校教育課

取組名	27年度の取組実績	担当課所室								
④ 環境情報の整備・提供【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、広報、テレビ、ラジオ、新聞等を通じた情報提供の充実に努めた(環境部各課所)。 ・「あきた次世代エネルギーパーク」について、ホームページに掲載し、周知を図った(環境総務課)。 ・「秋田市地球温暖化対策実行計画」を作成し、ホームページ等で公表した(環境総務課)。 ・「秋田市環境基本計画年次報告書」を作成し、ホームページで公表した(環境総務課)。 ・地球温暖化対策情報提供誌「e-市民だより」を発行(6回)した(環境総務課)。 ・小学生環境学習副読本「私たちのくらしとかんきょう」を作成し、市内の小中学校等に配布した(環境総務課)。 副読本2,730部 指導のてびき110部	環境総務課								
⑤ 環境学習推進事業	<p>【環境展】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 6月の環境月間行事の一環として、環境に関する市民の関心を高め、環境配慮行動を促すことを目的に、上下水道局で実施する「水道ふれあいフェア」と合同で「環境展」を開催した。 ・日時 平成27年6月6日(土) 10:00～15:00 ・会場 JR秋田駅前大屋根下・アゴラ広場 ・内容 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">ごみ分別つりゲーム</td> <td>ごみ集積所設置等の補助事業の紹介</td> </tr> <tr> <td>こども大声コンテスト</td> <td>不法投棄に関するパネル等の展示</td> </tr> <tr> <td>監視カメラの展示</td> <td>ごみ処理とリサイクル事業の紹介</td> </tr> <tr> <td>緑のカーテンの紹介</td> <td>ペレットストーブの展示</td> </tr> </table> e-市民制度紹介と新規募集 <p>【親子環境教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 秋田市では学校教育や社会教育等の多様な場において、環境教育を実施している。27年度は、親子で海水の調査やリサイクルなどを体験することで、環境に対する意識を高めてもらうことを目的として「親子環境教室」を年6回開催した。 ・ホタル観察会 日時 6月27日(土) 19:30～21:00(対象:市内小学生とその保護者) 内容 ホタル講座、観察 ・ホタル観察会 日時 7月4日(土) 19:30～21:00(対象:年齢制限なし) 内容 ホタル講座、観察 ・みなとの水質調査(秋田海上保安部の協力による港の学習) 日時 7月29日(水) 9:00～12:00 内容 ビデオによる学習 巡視艇に乗船し、港の様子と海から秋田市を観察 水質調査のための採水(港内、外海) 透明度の測定(港内、外海) ・エコ科学実験教室(秋田大学の協力による、身近なものを使った科学実験) 日時 8月21日(金) 9:30～11:30 内容 温度をはかってみよう お家でできる電池をつくってみよう 二酸化炭素を調べよう ごみ減量と有効活用(発泡スチロールを使ったスタンプ作り) 低温・高温の世界をのぞいてみよう ・あきた次世代エネルギーパーク施設見学(対象:市内小学4～6年生とその保護者) 日時 10月13日(火) 8:30～12:30 内容 木質ペレット工場、風力発電所、太陽光発電所等の見学 ・冬の施設見学会(対象:市内在住者) 日時 1月30日(土) 10:00～15:00 内容 雪で覆われた自然の野山の観察 	ごみ分別つりゲーム	ごみ集積所設置等の補助事業の紹介	こども大声コンテスト	不法投棄に関するパネル等の展示	監視カメラの展示	ごみ処理とリサイクル事業の紹介	緑のカーテンの紹介	ペレットストーブの展示	環境総務課
ごみ分別つりゲーム	ごみ集積所設置等の補助事業の紹介									
こども大声コンテスト	不法投棄に関するパネル等の展示									
監視カメラの展示	ごみ処理とリサイクル事業の紹介									
緑のカーテンの紹介	ペレットストーブの展示									

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
⑥ 環境学習サポート事業	環境学習サポート事業を実施し、学校や市民団体の要望に応じ、環境教育・学習の場への講師の派遣や資料の提供を行った。 ・各種環境学習会 22回開催 1,230人参加	環境総務課

(2) 環境学習プログラムの整備と機会の充実

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
① 子ども体験活動推進事業	市内3公民館や5市民サービスセンターにおいて、各ブロック子ども会交流会やカーナー教室など、野外活動や宿泊体験、ものづくりなどの体験活動を実施した(事業数19、参加延べ人数762人)。	生涯学習室
② 太平山自然学習センター運営事業【再掲】	小中学生の宿泊研修や自然体験活動等の主催事業を実施した。 ※別添資料→42ページ	太平山自然学習センター
③ 体験学習やふれあい教室の実施	・動物の飼育や園内管理作業を体験する「お仕事体験」や「インターンシップ」などの体験学習には、合計で68件、1,350人の参加があった。 ・また、来園者を対象に小動物とのふれあいを行う「なかよしタイム」には、開催263日で40,077人の参加があり、幼稚園や小学校などの申し込みによる「ふれあい教室」には、113件、3,472人の参加があった。	大森山動物園
④ 命のつなぎ(種の保存)事業活動【再掲】	・動物園内の自然沼、塩曳潟(しおひきがた)に生息する絶滅危惧種ゼニタナゴについて、NPO法人秋田水生生物保全協会、ボランティアの協力により、沼の生息状況調査などを実施し23名の参加があったほか、ゼニタナゴの保全のために作製した池(保護池)の中で、75尾の稚魚を孵化させ、26尾を沼に放流した。 ・また、同じ保全池の中でゼニタナゴが卵を産む貝の繁殖にも成功し、稚貝を含む約1,900個を沼に放流した。さらに、ゼニタナゴ保全活動の一環として、地元小学生などボランティアと共に外来生物アメリカザリガニの駆除に努め、年間を通じて372尾を駆除した。 ・大森山公園の自然の普及啓発を目的とした自然観察会を実施し9名の参加があった。	大森山動物園
⑤ 環境教育展示	・園内で実施している絶滅危惧種ゼニタナゴの保全活動の一環として、保護池で育成した12尾を園内水槽へ移入展示し、保全活動への理解を求めた。なお、これまで水槽展示した魚は、塩曳潟へ放流した。 ・また、比較展示を目的とし、絶滅危惧種のシナイモツゴとキタノアカヒレタビラについても、継続して飼育展示中である。 ・大森山公園の自然の普及啓発を目的として「大森山公園の野鳥写真展」を開催した。	大森山動物園
⑥ 農業体験学習推進対策事業	市内小学校で実施する農業体験学習等を支援してきたが、当初の目的を達成したことから平成25年度をもって事業終了した。	産業企画課

取組名	27年度の取組実績	担当課所室								
⑦ 環境学習推進事業 【再掲】	<p>【環境展】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 6月の環境月間行事の一環として、環境に関する市民の関心を高め、環境配慮行動を促すことを目的に、上下水道局で実施する「水道ふれあいフェア」と合同で「環境展」を開催した。 ・日時 平成27年6月6日(土) 10:00～15:00 ・会場 JR秋田駅前大屋根下・アゴラ広場 ・内容 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>ごみ分別つりゲーム</td> <td>ごみ集積所設置等の補助事業の紹介</td> </tr> <tr> <td>こども大声コンテスト</td> <td>不法投棄に関するパネル等の展示</td> </tr> <tr> <td>監視カメラの展示</td> <td>ごみ処理とリサイクル事業の紹介</td> </tr> <tr> <td>緑のカーテンの紹介</td> <td>ペレットストーブの展示</td> </tr> </table> e-市民制度紹介と新規募集 <p>【親子環境教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 秋田市では学校教育や社会教育等の多様な場において、環境教育を実施している。27年度は、親子で海水の調査やリサイクルなどを体験することで、環境に対する意識を高めてもらうことを目的として「親子環境教室」を年6回開催した。 ・ホテル観察会 <ul style="list-style-type: none"> 日時 6月27日(土) 19:30～21:00(対象:市内小学生とその保護者) 内容 ホテル講座、観察 ・ホテル観察会 <ul style="list-style-type: none"> 日時 7月4日(土) 19:30～21:00(対象:年齢制限なし) 内容 ホテル講座、観察 ・みなとの水質調査(秋田海上保安部の協力による港の学習) <ul style="list-style-type: none"> 日時 7月29日(水) 9:00～12:00 内容 ビデオによる学習 巡視艇に乗船し、港の様子と海から秋田市を観察 水質調査のための採水(港内、外海) 透明度の測定(港内、外海) ・エコ科学実験教室(秋田大学の協力による、身近なものを使った科学実験) <ul style="list-style-type: none"> 日時 8月21日(金) 9:30～11:30 内容 温度をはかってみよう お家でできる電池をつくってみよう 二酸化炭素を調べよう ごみ減量と有効活用(発泡スチロールを使ったスタンプ作り) 低温・高温の世界をのぞいてみよう ・あきた次世代エネルギーパーク施設見学(対象:市内小学4～6年生とその保護者) <ul style="list-style-type: none"> 日時 10月13日(火) 8:30～12:30 内容 木質ペレット工場、風力発電所、太陽光発電所等の見学 ・冬の施設見学会(対象:市内在住者) <ul style="list-style-type: none"> 日時 1月30日(土) 10:00～15:00 内容 雪で覆われた自然の野山の観察 	ごみ分別つりゲーム	ごみ集積所設置等の補助事業の紹介	こども大声コンテスト	不法投棄に関するパネル等の展示	監視カメラの展示	ごみ処理とリサイクル事業の紹介	緑のカーテンの紹介	ペレットストーブの展示	環境総務課
ごみ分別つりゲーム	ごみ集積所設置等の補助事業の紹介									
こども大声コンテスト	不法投棄に関するパネル等の展示									
監視カメラの展示	ごみ処理とリサイクル事業の紹介									
緑のカーテンの紹介	ペレットストーブの展示									

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
⑧ 市職員の環境教育	<ul style="list-style-type: none"> 各課所室校の担当者(エコあきた日常推進員)に対し、秋田市環境配慮行動計画の取組状況および取組強化について説明会を開催した。 文書一斉廃棄に際し、紙類の分別・リサイクルおよび使用量の節減について職員に徹底した。 	環境総務課
⑨ 環境学習サポート事業【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> 環境学習サポート事業を実施し、学校や市民団体の要望に応じ、環境教育・学習の場への講師の派遣や資料の提供を行った。 各種環境学習会 22回開催 1,230人参加 	環境総務課
⑩ 資源集団回収事業	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度の回収品目の単価 奨励金算出基礎 1～12月分 実施回数割額 450円/回(月2回以上実施した時は1回分とする) 回収数量割額 1Kg当たり雑誌・雑がみ 6円、その他の古紙 2円、その他 1.5円 実施団体数 572団体 集団回収回数 4,908回 	環境都市推進課

(3) 人材の育成と連携の促進

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
① 子ども体験活動推進事業【再掲】	市内3公民館や5市民サービスセンターにおいて、各ブロック子ども会交流会やカーン教室など、野外活動や宿泊体験、ものづくりなどの体験活動を実施した(事業数19、参加延べ人数762人)。	生涯学習室
② こどもエコクラブ事業	<ul style="list-style-type: none"> こどもが誰でも参加できる環境活動のクラブ。環境学習・環境保全などの活動を行っている。 こどもエコクラブ事業・・・環境省が平成7年度より企画・推進している。 本市の状況 こどもエコクラブ登録者 23クラブ(メンバー1,500人、サポーター193人) 	環境総務課

第2節 地球環境問題

(1) 地球環境保全対策

取組名	27年度の取組実績	担当課所室								
① 環境学習推進事業 【再掲】	<p>【環境展】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 6月の環境月間行事の一環として、環境に関する市民の関心を高め、環境配慮行動を促すことを目的に、上下水道局で実施する「水道ふれあいフェア」と合同で「環境展」を開催した。 ・日時 平成27年6月6日(土) 10:00～15:00 ・会場 JR秋田駅前大屋根下・アゴラ広場 ・内容 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">ごみ分別つりゲーム</td> <td>ごみ集積所設置等の補助事業の紹介</td> </tr> <tr> <td>こども大声コンテスト</td> <td>不法投棄に関するパネル等の展示</td> </tr> <tr> <td>監視カメラの展示</td> <td>ごみ処理とリサイクル事業の紹介</td> </tr> <tr> <td>緑のカーテンの紹介</td> <td>ペレットストーブの展示</td> </tr> </table> e-市民制度紹介と新規募集 <p>【親子環境教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 秋田市では学校教育や社会教育等の多様な場において、環境教育を実施している。27年度は、親子で海水の調査やリサイクルなどを体験することで、環境に対する意識を高めてもらうことを目的として「親子環境教室」を年6回開催した。 ・ホテル観察会 <ul style="list-style-type: none"> 日時 6月27日(土) 19:30～21:00(対象:市内小学生とその保護者) 内容 ホテル講座、観察 ・ホテル観察会 <ul style="list-style-type: none"> 日時 7月4日(土) 19:30～21:00(対象:年齢制限なし) 内容 ホテル講座、観察 ・みなとの水質調査(秋田海上保安部の協力による港の学習) <ul style="list-style-type: none"> 日時 7月29日(水) 9:00～12:00 内容 ビデオによる学習 巡視艇に乗船し、港の様子と海から秋田市を観察 水質調査のための採水(港内、外海) 透明度の測定(港内、外海) ・エコ科学実験教室(秋田大学の協力による、身近なものを使った科学実験) <ul style="list-style-type: none"> 日時 8月21日(金) 9:30～11:30 内容 温度をはかってみよう お家でできる電池をつくってみよう 二酸化炭素を調べよう ごみ減量と有効活用(発泡スチロールを使ったスタンプ作り) 低温・高温の世界をのぞいてみよう ・あきた次世代エネルギーパーク施設見学(対象:市内小学4～6年生とその保護者) <ul style="list-style-type: none"> 日時 10月13日(火) 8:30～12:30 内容 木質ペレット工場、風力発電所、太陽光発電所等の見学 ・冬の施設見学会(対象:市内在住者) <ul style="list-style-type: none"> 日時 1月30日(土) 10:00～15:00 内容 雪で覆われた自然の野山の観察 	ごみ分別つりゲーム	ごみ集積所設置等の補助事業の紹介	こども大声コンテスト	不法投棄に関するパネル等の展示	監視カメラの展示	ごみ処理とリサイクル事業の紹介	緑のカーテンの紹介	ペレットストーブの展示	環境総務課
ごみ分別つりゲーム	ごみ集積所設置等の補助事業の紹介									
こども大声コンテスト	不法投棄に関するパネル等の展示									
監視カメラの展示	ごみ処理とリサイクル事業の紹介									
緑のカーテンの紹介	ペレットストーブの展示									

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
② 酸性雨のモニタリング	酸性雨や酸性雪の実態を把握するため、降雨については市庁舎分館屋上、降雪については市営八橋球場において調査を実施した。その結果、水素イオン濃度は加重平均値で降雨が5.0、降雪が4.6となっており、秋田市の降雨・降雪は、測定以来、酸性で推移している。	環境保全課
③ グリーン購入・グリーン調達の推進【再掲】	【環境総務課】 ・年間を通して、エコあきた行動計画に基づき、グリーン購入・グリーン調達を推進した。 ・四半期ごとに実績について報告を受けている。 【契約課】 用品調達基金により購入している事務用品については、グリーン購入法適合品とした。 ※別添資料→43ページ	環境総務課
④ 海外交流都市との情報交換	各海外交流都市担当者との情報交換や、ホームページ等とおして情報収集に努めた。	企画調整課

(2) 地球温暖化の防止

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
① 温暖化対策実行計画の推進・見直し	・エコあきた行動計画に基づき、市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量の削減に努めた。 ・平成27年度の排出量 126,485t-CO ₂ (平成24年度比2.6%減) ・秋田市地球温暖化対策実行計画に基づき、本市事務事業および市民、市内事業者等に対し、地球温暖化対策を総合的に推進した。 ・秋田市地球温暖化対策実行計画を平成28年3月に改定した。	環境総務課
② 市民版ISOの推進	・各種啓発イベントでe-市民認定システムへの参加を呼びかけた。 ・情報紙「e-市民だより」を隔月発行し、市民への配布および公共施設への設置等により、ごみ減量、省エネ等に関する取組の啓発を行った。	環境総務課
③ 低公害車導入・普及【再掲】	市民・事業者により率先して、公用車への低公害車導入を推進した。 ※別添資料→41ページ	環境総務課
④ エコドライブの推進【再掲】	エコドライブ講習会を開催した。 ・日 時 平成27年5月23日(土)、10月6日(火) ・場 所 秋田県警察運転免許センター、割山自動車学校 ・参加者数 39名	環境総務課
⑤ グリーン購入・グリーン調達の推進【再掲】	【環境総務課】 ・年間を通して、エコあきた行動計画に基づき、グリーン購入・グリーン調達を推進した。 ・四半期に一度、実績について報告を受けている。 【契約課】 用品調達基金により購入している事務用品については、グリーン購入法適合品とした。 ※別添資料→43ページ	環境総務課

取組名	27年度の取組実績	担当課所室
⑥ オフセット・クレジット制度活用推進経費	<p>本市の環境立市を具現化する行動として認証・発行したオフセット・クレジット(J-VET)販売を促進し収益化を図るとともに、これで得た収益を活用した事業を実施することにより、持続可能な森林経営、森林整備の促進、市民に対する環境・地球温暖化対策の意識啓発を図った。</p> <p>・オフセット・クレジット制度活用推進経費 オフセット・クレジット 販売可能量 6,456t-CO₂ 販売量 10t-CO₂</p>	農地森林整備課
⑦ スマートシティ情報統合管理基盤の構築【再掲】	<p>センサーを設置するなど、市役所のエネルギー使用状況の可視化を行い、エネルギー削減に努めた。結果、センサー設置施設では、平成23年度比5.0%削減を達成した。</p>	環境総務課
⑧ 地域ESCO事業の導入【再掲】	<p>平成24年度に省エネルギー改修等を行った市有4施設についてESCO事業を継続して実施した。</p>	環境総務課

別添資料 「低公害車導入・普及」関係(P9、P39)

平成27年度 秋田市役所の低公害車等保有・購入台数状況

		貨物自動車		乗合・乗用		軽自動車		特殊自動車等		合計	
		保有台数	購入台数	保有台数	購入台数	保有台数	購入台数	保有台数	購入台数	保有台数	購入台数
低公害車以外		49	0	48	8	46	4	236	2	379	14
低公害車	燃料電池	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	電気	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0
	天然ガス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	メタノール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	22	5	0	0	2	0	24	5
	H21年10%低減(☆)	1	0	0	0	0	0	3	2	4	2
	H17年75%低減(☆☆☆☆)	3	1	46	3	41	7	26	0	116	11
	H17年50%低減(☆☆☆)	6	0	13	0	33	8	9	0	61	8
	H12年75%低減(☆☆☆)	2	0	9	0	0	0	2	0	13	0
	H12年50%低減(☆☆)	3	0	2	0	8	0	4	0	17	0
	H12年25%低減(☆)	5	0	6	0	5	0	2	0	18	0
	水素	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	プラグインハイブリッド自動車	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
合計		69	1	147	16	135	19	284	4	635	40

※購入台数は、27年度中に購入した車の台数
 ※保有台数は、購入台数を含む総数

別添資料「太平山自然学習センター運営事業」関係(P13、P35)

	事業名	主な内容	期日等	対象等	人数
学校教育利用	○宿泊利用	○野外活動(テント設営、野外炊飯、オリエンテーリング、キャンプファイヤー、登山) ○自然観察(動植物の観察、天体観測) ○創作活動(クラフトづくり)	5/12 ~2/19	76校	5,573人
	○日帰り利用			2校	26人
	計				78校
一般利用	宿泊利用	○野外活動(テント設営、野外炊飯、オリエンテーリング、キャンプファイヤー、登山) ○自然観察(動植物の観察、天体観測) ○創作活動(クラフトづくり)	4/1 ~3/31	40団体	1,621人
	日帰り利用			31団体	1,044人
	計				71団体
主催事業	まんたらめ 春のファミリーハイキング	リゾート公園内ハイキング	4/29	家族	44人
	まんたらめ 太平山奥岳登山	太平山中岳登頂、宿泊体験	5/31	一般	雨天中止
	まんたらめ 夏のファミリーキャンプ	テント設営体験、バンクークラフト作り	7/25 ~26	家族	34人
	まんたらめ チャレンジキャンプ	太平山奥岳登山、野外炊飯、テント泊、バームクーヘン作り	8/7 ~9	小学5・6年生	18人
	まんたらめ ちびっこキャンプ	花公園ハイキング、妙見山登山、木の実・木の葉のクラフト、きりたんぼ作り	10/10 ~11	小学1・2年生	32人
	まんたらめ ダッチオープン料理	ダッチオープン料理	10/18	一般	6人
	まんたらめ 秋のファミリーキャンプ	紅葉ハイキング、草木染め体験、ピザ作り	10/24 ~25	家族	24人
	まんたらめ はじめてのガーデニング	花作りの実践的な知識や技能を身につける	11/8	一般	15人
	まんたらめ ウィンターキャンプ	うどん打ち、館内テント泊、スノーキャンドル作り、スノーシュー体験、餅つき体験	1/6 ~7	小学3・4年生	32人
	まんたらめ 中学生交流キャンプ	スノーシュー体験活動、やきいも作り、意見交流会、	1/16 ~17	中学1・2年生	10人
	まんたらめ スノーウォーキング	スノーシューでトレッキング	1/24	一般	16人
	まんたらめ 冬のファミリーキャンプ	スキー教室、スノーキャンドル作り、餅つき体験	2/13 ~14	家族	29人
	計				
その他	学校利用説明会、ボランティア等				220人

別添資料

「エコオフィスの推進」関係（P 27）

「グリーン購入・グリーン調達」関係（P 25、P 28、P 39）

秋田市役所環境配慮行動計画（エコあきた行動計画）の取組実績について

本市では、地球温暖化対策の推進に関する法律（平成10年法律第117号）および環境基本条例（平成11年秋田市条例第15号）等に基づき、秋田市役所環境配慮行動計画を策定し、自らの事務事業における燃料使用量等を、平成24年度を基準として、平成28年度までの4年間で4%以上、かつ毎年、対前年度比1%以上の削減を目標として取り組んでいます。

1 エネルギー等の使用状況

前年度に比べ、すべての項目で減少している。

(1) 実績値

項目 \ 年度	H 2 5 年度	H 2 6 年度	H 2 7 年度
電気使用量	66,366 千 kwh	63,707 千 kwh	62,110 千 kwh
ガス使用量	2,207 千 m ³	2,231 千 m ³	2,105 千 m ³
灯油・重油使用量	4,430 kl	4,227 kl	3,672 kl
公用車燃料使用量	422 kl	408 kl	393 kl
水道使用量	636 千 m ³	626 千 m ³	612 千 m ³
ごみ排出量	1,605 t	1,434 t	882 t
コピー用紙使用量	63,668 千枚	57,690 千枚	55,662 千枚
【参考】電気料金	1,452,965 千円	1,595,769 千円	1,475,566 千円

(2) 比較

項目 \ 年度	前年度比 (目標1%以上)	H 2 4 年度比 (目標平成28年度 までに4%以上)
電気使用量	▲ 2.5 %	▲ 9.2 %
ガス使用量	▲ 5.7 %	▲ 1.7 %
灯油・重油使用量	▲ 13.1 %	▲ 9.9 %
公用車燃料使用量	▲ 3.6 %	▲ 12.9 %
ごみ排出量	▲ 38.5 %	▲ 49.1 %
水道使用量	▲ 2.2 %	▲ 11.6 %
コピー用紙使用量	▲ 3.6 %	▲ 11.9 %
【参考】電気料金	▲ 7.5 %	11.2 %

2 温室効果ガス排出量

エネルギー使用による温室効果ガスの排出量は減少したが、総合環境センターのプラスチック類の処理量増加により、前年度比で2.3%増加した。

(1) 実績値

項目 \ 年度	H 2 5 年度	H 2 6 年度	H 2 7 年度
温室効果ガス排出量	131,260 t-CO ₂	123,741 t-CO ₂	126,485 t-CO ₂

(2) 比較

項目 \ 年度	前年度比 (目標1%以上)	H 2 4 年度比 (目標平成28年度 までに4%以上)
温室効果ガス排出量	2.3%	▲ 2.6%

3 環境配慮物品調達（グリーン物品調達）

グリーン購入調達目標を設定している5品目に対し、3品目において目標を達成した。

特定調達品目	調達目標	調達率	達成の可否
紙類	95%	95.7%	○
文具類	90%	87.6%	×
OA機器	95%	94.1%	×
照明	70%	84.3%	○
制服・作業服	95%	95.8%	○